

## 「研究保育とカンファレンス」

2020/9/9

本園では、定期的に研究保育を行っています。今年度は、「園生活の中で育まれる自己肯定感～挑戦、そして自分らしさへ～」という研究主題にそって、保育をふりかえり、保育の質向上を目指しています。

研究保育当日は、園内でその日の保育を担当しない教員が保育を参観します。教育学部幼児教育コースの専任教員（小西、脇、森野）も、授業や会議、出張などが重ならない限り、保育を見に行きます。参観時は、事前に配布される「保育指導案」、そして「観察してほしいポイント」をもとに、写真や動画を撮影し、メモをとります。それらを、当日午後、あるいは別日に実施されるカンファレンスで共有し、省察を加え、翌日からの保育につなげていきます。

本日、9月9日は、園全体での研究保育でした。園からは園長先生と養護教諭、学部からは森野の3人が保育を参観し、写真や動画の撮影、メモをとりました。



5歳児（紫と水色帽子）と4歳児（黄色帽子）が、そうめん流しをしたいと夢中になって遊んでいた。なかなか水が下まで流れず、ヒューム管のつなぎ方を試行錯誤。「こうしてみよう。」「やってみよう。」と考えを出し合っていた。遊びの中の「挑戦」の場面。自己肯定感との関係は？事後カンファレンスを行いました。

（文責：森野）